和田中学校　学校だより

Wada Times Vol.16

平成２１年９月２９日
杉並区立和田中学校
校　長　　代田　昭久
副校長　　末吉　雄二
　　伴　　裕和
http://wadachu.jp

新生徒会 CHANGE!発足

さる九月十一日（金）、生徒会役員選挙が行われました。今回の選挙は、八月の衆議院議員選挙で使われた本物の記載台や投票箱を使い、実際の選挙とほぼ同じ手順で行いました。

ご協力をいただいた杉並区選挙管理委員会の方からは、「ここまで本格的な生徒会の選挙を手伝うのは初めてで、和田中生の真剣な取り組み態度にびっくりしました」と感想をいただきました。

杉並区選挙管理委員会の方から注意事項の説明▼

▲立候補者と応援者による立会演説会

▲本人確認と投票用紙配布

▲本物の記載台で記入

▼本物の投票箱に投票

委嘱状授与式のあと新役員の挨拶（18日）

■生徒会役員選挙を終えて■

副校長　伴　裕和

はじめて和田中学校の生徒会役員選挙を見ましたが、特に立会演説会で、皆が自分の言葉で、自分の思いや意見をしっかり主張している事、また他の生徒たちも静かに聞いている姿が印象的でした。皆が通いたい学校とはどういう学校なのか、そこでどう自分の力を生かすのかなど、「私」にとってだけではなく、皆にとって良い学校とは何かを考える「公」の心が育っている事を感じました。今年の生徒会役員選挙では、本物の投票箱などを使うとともに、杉並区選挙管理委員会の方から選挙の決まりなどを聞く機会もありました。選挙の決まりや工夫などは、皆の１票を大切にするためにあります。成人して選挙権を得た時も、その１票が自分だけのものではなく、社会に関わる大切な１票なのだという事を意識して投票してもらいたいと思います。

和田中学校は、新しい生徒会の下でさらに良い学校になっていくと確信しています。

意見発表会

九月十八日（金）、意見発表会が体育館で行われました。各学年の代表２名ずつ、合計６名の代表者が、自分の意見や思いを、全校生徒の前で堂々と発表しました。内容もさることながら、その話し方や、話す態度も含めて、とても素晴らしいものでした。

参観をした保護者の皆さんからは「ほとんどの生徒が原稿を見ずに、自分の言葉で発表をしているのに驚きました」「生徒がおしゃべりをせず集中して聴いている姿が印象的でした」等の感想をいただきました。

■水上朋子さん　会長賞を受賞■

『中学生の主張・東京大会』が九月十三日（日）新宿の都民ホールで行われ、応募総数４１０５名の中から３年生の水上朋子さんが第２位にあたる、会長賞を受賞しました。水上さんの題名は「言葉で伝える大切さ」。

当日は東京都の代表１０名の意見発表が行われたのですが、水上さんの発表は、中学生らしい素直な視点で言葉の重要性を伝えたもので、発表が終わった後は、会場が大きな拍手で包まれました。

9月12日「佐藤真海さん」をゲスト講師に、全校【よのなか科NEXT】を行いました

佐藤真海さんは、早稲田大学応援部チアリーダーズで活躍していた2002年に、骨肉腫のため右足膝下を切断、義足の生活になりました。その後競技生活を開始、走り幅跳びの日本代表選手となり、2008年には北京パラリンピック6位の成績を残しています。

授業では、佐藤さんが「自分の足が突然切断される」という絶望の中から、どうやって今のように元気で明るい自分を取り戻せたのかを話していただきました。佐藤さんは、時々は自殺も考えたことも告白していただきながら「パラリンピックでメダルを獲る」という『夢と出会えた』ことで、絶望の淵から這い上がってこられたという経験を伝えてくださいました。

障害を負いながらも、輝くような笑顔で話す佐藤さんに、みなさんも何かを感じたのではないでしょうか。

▲授業では実際に「義足」で走っていただきました

9月15日　3年生【よのなか科NEXT】の取材に作家「石田衣良さん」が来られました

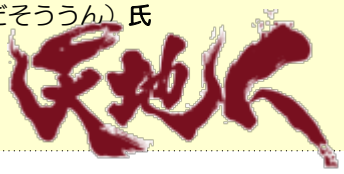
▲石田衣良さんもグループ討議に参加

ゲスト講師に産婦人科医師の池川明先生をお招きし「男女の産み分け」から「出生前検診」の問題にまで触れながら、生まれてくる赤ちゃんの命について考えました。

授業を受けた石田衣良さんは「生徒のみなさんと真剣に議論をしてとても面白かった。今日の授業の中から、次の作品のネタにしたいと思えるような発見もありました」と。また、和田中の印象については「生徒のあいさつが本当に気持ちがいいですね。こんな学校がもっと広がって欲しいです」と語っていただきました。

１０月の「よのなか科ＮＥＸＴ」のお知らせ

“よのなか科ＮＥＸＴ”の授業はどなたでも参加することができます。これから10年後、必ず直面し、解決していかなくてはならない社会の重要なテーマについて、生徒と一緒に考えていきます。

月	日	学年	校時	テーマ	授業の内容など
10月	2日（金）	2年	(2)(3)(4)	社会の諸問題	「成人年齢の18歳引き下げについて考える」
	2日（金）	1年	(5)(6)	社会の諸問題	「成人年齢の18歳引き下げについて考える」
	6日（火）	3年	(6)(7)	芸術の秋 シリーズ① ～音楽と表現～	■ゲスト講師：**冨田勲**（とみた　いさお）氏 作曲家。世界を代表するシンセサイザーアーティスト。日本人として初めてグラミー賞にノミネートされ、また、日本人で初のビルボードで1位にランキングされた。最近では、2005年『隠し剣 鬼の爪』2007年『武士の一分』で、日本アカデミー賞 優秀音楽賞を受賞。
	13日（火）	3年	(1)～(6)	芸術の秋 シリーズ② ～絵画と表現～	■ゲスト講師：**はまのゆか**氏 絵本作家。イラストレーター。村上龍氏の『13歳のハローワーク』の挿絵を描き、120万部を超えるミリオンセラーとなる。
	27日（火）	3年	(6)(7)	芸術の秋 シリーズ③ ～書道と表現～	■ゲスト講師：**武田双雲**（たけだそううん）氏 「言霊を筆や墨で表現する」書道家。NHK大河ドラマ「天地人」や映画「火天の城」などの題字を手掛ける。 

よのなか科NEXTの情報は「和田中と地域を結ぶホームページ」　http://www.wadachu.jp